

一般国道287号 米沢北バイパスが開通しました！



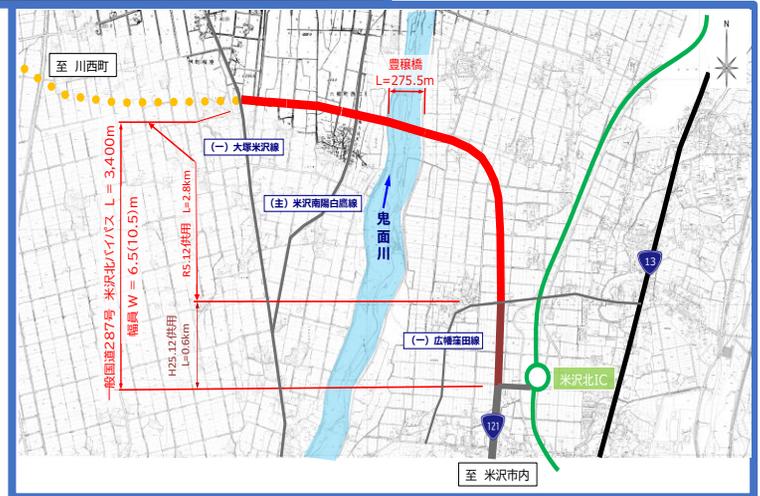
平成16年度から事業を行ってきた一般国道287号米沢長井道路「米沢北バイパス(米沢市窪田町藤泉～米沢市六郷町桐原)」延長(L)=2,800mが12月2日(土)に開通し、米沢北バイパス延長(L)=3,400m全線が通行できるようになりました。



当日は、午前10時から米沢・川西間広域道路建設促進同盟会主催の開通式が行われました。

開通式では、吉村知事、鈴木衆議院議員、中川米沢市長、原田川西町長、小松県議会副議長、加藤米沢・川西間広域道路建設促進同盟会会長がテープカットした後、関係者が渡り初めを行い開通を祝いました。

この開通により、安全で円滑な通行が確保されるとともに、地域の皆様の利便性向上や産業振興につながることを期待されます。



■ 道路計画課 道路・高規格整備担当 ☎ 0238-26-6078

目次

トピックス&事業報告	置賜地域みんなで子育て応援団 視察・支援者研修会
「国道287号 米沢北バイパス」開通 ……01	「ライフデザインセミナー」開催
「置賜地域農林水産業若者賞」表彰 ……02	小学生対象の出前授業 実施 ……06
環境関連の表彰	置賜庄内観光交流事業
置賜地域議員協議会の開催 ……03	
WAKU WAKU WORK in 高畠中	
「高校生と地域企業等の交流事業」開催	
産地研究室だより ……04	お知らせ
高校生の魚道環境整備	やまがた冬のあった回廊キャンペーン ……07
水利施設の機能保全 研修会	山形おきたま伝統野菜レシピコンテスト ……08
「置賜こども芸術祭2023舞台芸術部門」開催 05	食品ロスの削減
	油流出事故の防止

置賜総合支庁ニュース12月号

発行元：山形県置賜総合支庁/Vol.191



総合支庁ニュースは
県HPでも公開中！



置賜総合支庁X(旧
Twitter)も活動中！

「置賜地域農林水産業若者賞」地域をけん引する3名を表彰！

置賜総合支庁では、農林水産分野で活躍する若者の優れた功績・成果、地域の課題解決に向けた取組みなどを顕彰しています。11月28日(火)、「令和5年度置賜地域農林水産業若者賞」の表彰式を開催し、置賜地域の農林水産業の振興・発展をけん引する3名を表彰しました。



【写真：左から島崎さん、嶋貫さん、佐藤さん】

○島崎 真人 さん(南陽市)

農業(水稲、おうとう、西洋なし)

しまさき農園代表。水稲は全て特別栽培・有機栽培で、全国大会で入賞する食味の高さ。積極的に農地を集積し経営規模を拡大しつつ、直接販売に注力し経営力を向上。グループ生産・販売にも力を入れ、地域の中心的な存在として活躍。

○嶋貫 諭 さん(川西町)

農業(水稲(種子用・主食用米)、大豆種子、えだまめ)

若手農家3名で地域の畑地化に取り組み、簡易的な圃場の大区画化・排水対策を実施。スマート農業など先進技術の地域への普及にも貢献。令和5年に(株)COCOMEL FARMを設立。山形県青年農業士等の要職を歴任。

○佐藤 聖之 さん(白鷹町)

林業団体職員(森林整備事業等の現場管理)

複数の森林所有者と森林の経営委託を締結し、森林経営計画を立て林地を集約。これにより高性能林業機械を導入した大規模施業による低コスト林業を実現し、組合の経営の安定化、若手職員の確保・定着に貢献。

■地域産業経済課 農産物利用拡大担当
☎ 0238-26-6042

～持続可能な社会をめざして～環境関連の表彰を受賞しました！

県では、環境への負荷の少ない社会づくりの促進と県民の意識の醸成を図るため、環境に関する活動で功績をあげられた個人・団体を表彰しています。

10月14日(土)、15日(日)に開催された「やまがた環境展2023」において、置賜地域から2団体が表彰を受けました。受賞団体の更なる活躍を期待しています。

「環境やまがた大賞」

地球環境や地域環境の保全、創造に関して功績があった個人・団体を表彰するもの。

<受賞団体>

特定非営利活動法人
最上川リバーツーリズムネットワーク(長井市)

水環境のすばらしさを体感する独創的な事業やフォトコンテスト、河川の清掃など、最上川水系の豊かな自然資源の価値を高める取組みを長年にわたり実施している。



「ごみゼロやまがた推進功労者表彰」

ごみの減量化やリサイクル等の推進に功績があった個人・団体を表彰するもの。

<受賞団体>

特定非営利活動法人
えき・まちネットこまつ(川西町)

家庭や事業所から未使用の食品を回収するフードドライブ活動を行っており、置賜地域のスーパーマーケットに常設の回収ボックスを設置するなど取組みを拡大。集めた食品を支援の必要な方に提供し、有効活用している。



■環境課環境企画・自然環境担当 ☎ 0238-26-6035

～地域の課題等を“総合支庁”で審議～ 令和5年度置賜地域議員協議会を開催

■ 総務課 企画調整担当
☎ 0238-26-6006



置賜地域における課題や総合支庁が実施する事業等の調査・審議を行う、置賜地域議員協議会が、管内から選出された県議会議員の出席のもと11月20日(月)、置賜総合支庁西庁舎で開催されました。

審議に先立ち、星総合支庁長から、令和4年8月3日からの大雨に係る

復旧対策状況、農作物の作柄の概況や産業人材の確保に向けた総合支庁の取り組み等について説明が行われました。

質疑では、道路や河川の災害復旧対策事業について、駅のにぎわい創出について、イノシシの広域捕獲活動について、猛暑による農作物の被害についてなど、県政全般について活発な議論が交わされました。



職業体験会「WAKU WAKU WORK in 高畠中」を開催しました！

企業が学校に出向き、用意した職業体験プログラムを生徒に体験してもらう「WAKU WAKU WORK in 高畠中」を10月24日(火)に高畠町立高畠中学校の2年生217名を対象に開催しました。地元で活躍する大人から地元企業や働くことの魅力を伝えることにより、将来の就職先として「地元」を意識してもらうとともに、若者の地元定着・地元回帰を図るため実施しています。高畠中では初めての開催であり、中学校での開催は6月の米沢市立第七中学校に続き2回目です。

置賜管内の製造、建設、飲食、美容、福祉など、様々な業種の31事業所がブースを設置し、生徒は一人当たり50分間の職業体験を四つのブースで行いました。

参加生徒は、タブレットで体験の様子を記録しつつ、積極的に質問するなど、一生懸命に取り組んでいました。そんな生徒たちと触れ合い、企業の方もとてもうれしそうでした。来年度以降も他の中学校に拡大していく予定です。

■ 地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0238-26-6092



重機試乗体験



配線作業体験

～地域で活躍する先輩が熱く語る！～ 「高校生と地域企業等の交流事業」を開催しました！



講演会の様子

10月10日(火)、株式会社小嶋総本店代表取締役社長の小嶋健市郎さんを講師に迎え、長井高等学校の2年生169名を対象に「目線は世界に、行動は足元から」と題して講演会を開催しました。

この事業は県内企業や地域の産業情報に触れる機会の少ない進学校の高校生を対象に、「地域で活躍する先輩」が学校に出向き、地域の企業の魅力や産業界で働くことの意義を伝え、若者の地元定着につなげていくものです。

小嶋さんは、酒蔵でのこだわりの酒造りや、SDGs活動を紹介したほか、「生まれや育ちは自分の特徴の一つ。でも生まれ育った地元には何かがあるか、君たちはまだまだ知らない。」「Think global, act local 旅立つ前に地元のことを知って欲しい。」などの提言があり、生徒は深くうなずいていました。

■ 地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0238-26-6092



講師：小嶋健市郎 氏

水稲育苗ハウスを活用したダリア栽培を目指して！

～国内初！耕うん・畝立て作業が不要なダリアの隔離床栽培技術の開発へ～

置賜地域は、平成13年からダリア切り花の生産販売に取り組み、全国のダリアブームの火付け役となった産地です。当地域では屋外の畑で栽培する露地栽培が主流ですが、より出荷期間を延長できるハウス栽培の導入を進めています。しかし、資材費等の高騰によりなかなか進まない状況です。一方、当地域には耕うんや畝立て等にかかる労力の問題から、水稲育苗後に使われていないハウスが多く存在します。そこで、産地研究室では水稲育苗ハウスを活用したダリアの栽培を目指し、耕うんや畝立て、整地等の作業が不要な封入ヤシ殻少量培地を使ったダリアの隔離床栽培技術の開発に取り組んでいます。

この取組みは国内初で、これまでの試験で隔離床栽培に適した栽植密度や施肥量を明らかにしました。今後は、適した品種や施肥方法を明らかにし、現場で活用できる技術にしていきます。

■ 農業技術普及課産地研究室 花き担当 ☎ 0238-47-2115



封入ヤシ殻少量培地と定植時のダリア苗の様子



ダリアの隔離床栽培の様子

隔離床栽培：培地が地面から隔離された栽培方法。ダリアでは国内で初めての試み。

高校生が魚道の環境整備に取り組みました！

10月10日(火)、米沢工業高校の生徒が、米沢市小野川町の大樽川にある魚道の環境整備に取り組みました。

この魚道は、砂防えん提を魚が遡上できるように整備したもので、平成30年度に完成しました。整備には、同校と置賜農業高校の生徒が参加しました。米沢工業高校では、その後も毎年、魚道の効果や周辺の環境について調査を続けています。その一環で、施設の維持管理の重要性を学ぶため、魚道にたまった土砂の除去作業に取り組んでいます。

今回、建設環境類の3年生11名と教員2名が参加しました。雨の降る中、生徒たちは汗を流しながら、魚が遡上しやすいよう、川の底にたまった土砂を2時間かけて取り除きました。生徒の皆さん、お疲れ様でした！



■ 河川砂防課 維持調査担当 ☎ 0238-26-6085

水利施設の機能保全に関する研修会

近年、老朽化等により用水路や揚水機等の農業用水利施設が破損し、水漏れ等の事故が県全域で多く発生しています。

事故を未然に防ぐため、10月27日(金)に施設の管理にあたる土地改良区の職員等を対象に「水利施設の機能保全に関する研修会」を開催しました。

研修では、施設を未永く活用していくため、日常的な点検や破損等の状況を調べる機能診断の定期的な実施の必要性や手法に関する講義のほか、実際に現地で施設の機能診断を行いました。参加者からは「突発的な事故の原因や、適切な施設の点検が事故防止につながる事が学べた」などの感想がありました。

今回の研修を機に施設管理意識の更なる向上と事故の未然防止が期待されます。

■ 農村計画課 計画担当 ☎ 0238-26-6057



試験機材による施設の劣化診断



研修会の様子

置賜のこどもたちが熱演！！

～置賜こども芸術祭2023舞台芸術部門～

置賜文化フォーラムでは、11月11日(土)に米沢市「伝国の杜置賜文化ホール」において「置賜こども芸術祭2023舞台芸術部門」を開催しました。当日は、4年ぶりに置賜3市5町全てからの団体に出演いただき、「狂言」「民俗芸能」「ヒップホップダンス」「ダンス」「フラダンス」「合唱」といった多彩な演目が上演され、子どもたち一人ひとりの個性が輝く素晴らしいパフォーマンスが披露されました。また、今回、米沢市の子どもたちに総合司会をお願いしました。はきはきと元気のよい進行でステージに華を添えていただきました。

多くのお客様にご来場いただき、子どもたちの熱演に対して会場からは惜しみない盛大な拍手が贈られ、幕を閉じました！



■ 置賜文化フォーラム(総務課連携支援室) ☎ 0238-26-6021

～置賜地域みんなで子育て応援団～ 視察・支援者研修を開催しました！

11月9日(木)、置賜地域みんなで子育て応援団では、今年9月に長井市にオープンした図書館と子育て世代活動支援センターの複合施設「くるんと」を視察しました。当日は、多くの家族連れでにぎわっており、ボールプールやクジラの大型遊具、ボールを当てて遊ぶデジタルウォールなどで大人も子どもも楽しんでいました。

視察後は、敷地内にある広場へ移動し、「モルック」の実技研修を実施しました。「モルック」は老若男女、障がいの有無に関わらず楽しめるスポーツとして近年注目されており、今後、地域の子育て支援の場での活用が期待されます。参加者のほとんどが初めて体験する「モルック」に、「楽しかった、戦略性が高くおもしろい」との感想があり、笑顔あふれる研修会となりました。

■ 子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当
☎ 0238-26-6027



※モルック:フィンランド発祥のスポーツ。3～4m離れた場所から木の棒を投げ、倒れたピンの合計点数が50点になるように競う。

～今、ここから幸せに生きる～

「ライフデザインセミナー」を開催しました

■ 子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当
☎ 0238-26-6027

10月28日(土)、県内在住女性を対象にライフデザインセミナーを開催し、伝国の杜置賜文化ホール大会議室会場、オンライン合わせて20名に参加いただきました。

第1部は、MOTHER design(マザー デザイン)のわだゆきこさんによる講演が行われ、今ここからはじめるライフデザインについて、ワークショップや事例紹介も交えてお話いただきました。第2部はGILL YONEZAWA(ジル ヨネザワ)の引地玲菜さんによるヨガ体験が行われ、上杉神社の紅葉を眺めながら家庭でもできるヨガのポーズで、心と体を癒して自身を大切にしている時間となりました。

参加者からは、「自分の心に蓋をしている部分があると思った」「心が穏やかに癒された」等の感想が寄せられました。



土木の不思議、教えます！

—小学生を対象とした出前授業—

小中学生のうちから土木に興味を持ってもらえるよう、日本技術士会山形県支部では出前授業に取り組んでおり、山形県はこれを後援しています。

今年度は、山形大学の本山教授をお招きし、南陽市立宮内小学校の6年生56名を対象に、11月17日(金)に出前授業を開催しました。

当日は、雨が降って山が崩れる仕組みや災害から命を

守る方法、アーチ型の石橋が崩れない仕組みを学んだほか、本山教授からは置賜地方の活断層や地震時の建物の揺れ方など、模型を使いながらわかりやすく学びました。また、フライトシミュレータを使ってドローンの操縦を体験しました。時折、歓声が起こるなど終始楽しみながら『土木の不思議』に触れた出前授業となりました。

■建設総務課 技術調整担当 ☎ 0238-26-6099



地すべりの仕組み



ドローンの実機飛行・撮影

置賜庄内観光交流事業を開催しました！

置賜、庄内両地域の観光関係者による観光交流事業を11月17日(金)、鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡で開催しました。

日本政府観光局の中山理映子理事が「新たな『訪日マーケティング戦略』の展開」と題して講演し、今後のインバウンド観光の方向性や重点市場ごとのターゲット設定とターゲットが同じ地域同士の連携の重要性を指摘しました。



また、それぞれの地域の観光事業者の事例発表があり、置賜からは、エイチ・アンド・カンパニー(株)の堀江守弘さんが、水没林カヌーや雲海気球、氷瀑ツアーなど、山形の地域資源を活かしたアウトドアアクティビティの可能性について発表しました。

今後も両地域の観光関係者が相互交流を行い、広域観光連携を強化していきます。

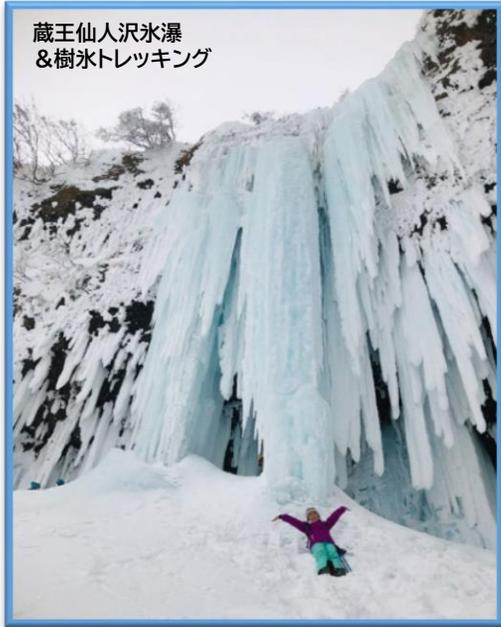
■地域産業経済課 観光振興室 ☎ 0238-26-6046





やまがた冬の
あった回廊
YAMAGATA WINTER & COZY WINTER TOUR CAMPAIGN
おきたま・かみのやま

やまがた冬のあった回廊キャンペーン開催！



蔵王仙人沢氷瀑
& 樹氷トレッキング

置賜地域3市5町と上山市では、3月31日(日)まで、「やまがた冬のあった回廊キャンペーン」を開催しています。

今年は米沢市・上山市の新しい体験コンテンツをはじめとし、冬の置賜・上山の魅力をぎゅっと集めて皆さんにお届けします。冬ならではの魅力を感じられる企画をお楽しみください。

他にも、米沢牛や銘酒・ワインに代表される美食・美酒、名湯・秘湯、パウダースノーが楽しめるゲレンデでのスキー・スノーボード、スノーパークでの雪遊び等、冬の魅力がいっぱいです。

公式LINEからは、スタンプラリーに参加できるほか、観光情報やキャンペーンなど耳寄り情報をお知らせします。また、アンケートに答えるだけで、米沢牛カタログギフト等豪華賞品が当たるプレゼント企画もあります。

詳しくは、公式LINE、ホームページまたは置賜・上山の道の駅等に設置しているリーフレットをご覧ください。



よねざわ栗子峠氷筍鑑賞トレッキングツアー

山形おきたま観光協会
公式LINE
友だち募集中！

友だち登録特典
○スタンプラリーで名産品をゲット！
○最新イベント情報をお知らせ！
○アンケートに答えて、
美食・美酒豪華プレゼントが
抽選で当たる！

詳しくは
HPをチェック！

あった回廊 検索

■やまがた冬のあった回廊キャンペーン
実行委員会事務局
(置賜総合支庁観光振興室内)
☎ 0238-26-6046

皆様の“いいね”を募集中！ 「山形おきたま伝統野菜レシピコンテスト」

山形おきたま伝統野菜
レシピコンテスト

募集期間
2023. 8.1 - 10.31

「山形おきたま伝統野菜」を使ったレシピを大募集！
我が家ではこう食べてもよ！こんな食べ方が絶品！といった皆さんのとっておきのレシピをご応募ください。

◆ 賞品 ◆ 選考の流れ ◆

STEP 1 レシピ募集 8月1日(火)～10月31日(火)
「おかひじき」、「紅大豆」、「薄皮丸なす」から食材を選び、オリジナル伝統野菜レシピをご応募ください。

STEP 2 一次審査 11月上旬
事務局のうえ、二次審査に進むレシピを提出します。選ばれたレシピはInstagramに投稿します。

STEP 3 二次審査
★Instagramいいね数審査 12月1日(金)～12月31日(日)
★調理・実食審査
Instagramいいね数とおきたま審査委員会による調理・実食審査にて食材からそれぞれ受賞レシピを決定します。

STEP 4 結果発表
Instagramにて受賞レシピを発表します！
慣れなくも一次審査で落選したレシピを厳選しInstagramで紹介いたします！

◆ 応募方法 ◆
下記からご応募ください！

◆ 応募のルール ◆
・料理のアドバイザーにもご応募いただけます。
・工夫したポイントやあなたのレシピに込めた思いをぜひ、記入してください。
・応募されたレシピは事務局に送られますが、必ずしも採用されません。
・応募は最終的な選考事項までご確認ください。

事務局TEL: 0238-26-6020
山形県置賜総合支庁 観光振興部 観光課 連携支援室

若者の視点で地域を見つめ直し、魅力を発信する「おきたま元気創造ラボ」では、この度、置賜の食文化をPRするため、「山形おきたま伝統野菜レシピコンテスト」を開催し、おかひじき、紅大豆、薄皮丸なすを使用したレシピを募集しました。

現在は、一次審査を通過したレシピをInstagramに掲載し、皆様から「いいね」機能により投票を募る二次審査を実施しています。
詳細は下記のとおりです。皆様からの投票をお待ちしております！

■おきたま元気創造ラボ(総務課 連携支援室) ☎ 0238-26-6020

★投票期限: 令和5年12月31日(日)まで

★投票方法:

- ①右の二次元コードを読み取る
※読み取れない場合は、Instagramで、「@okilabgram」と検索してください
- ②遷移先のプロフィール画面から「山形おきたま伝統野菜レシピコンテスト」の応募作品を確認
- ③「面白い」「美味しそう」と思った投稿に「いいね」を押す

冬は要注意！ヒートショックを防ごう

冬は入浴事故が多くなります。要因の一つがヒートショックです。

ヒートショックは、急激な温度変化により血圧や脈拍が変動することで、身体に様々な反応が起こります。その結果、一時的な意識障害や脳卒中・心筋梗塞等が生じ、転倒や浴槽で溺れる等、命に関わることもあり、特に高齢の方は注意が必要です。



また、体調不良時、飲酒や食事直後、睡眠薬等の服用後、早朝等の入浴は避けましょう。

入浴は疲れを癒しますが、一歩間違えると命の危険を伴います。お風呂の入りを注意しましょう。

〈ポイント〉

- ◆ 脱衣所や浴室を暖める
- ◆ かけ湯をする
- ◆ お風呂の温度は41度以下にし、お湯につかる時間の目安は10分
- ◆ 入浴前後に水分補給
- ◆ 同居家族がいれば入浴前に一声かけて、入浴中の家族を気にかける

■保健企画課 健康長寿推進担当
☎ 0238-22-3004

食品ロスを削減しよう



ごみゼロやまがた
県民運動キャラクター
「ごみゼロくん」

食べ残しや売れ残りなどの理由で、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

日本の食品ロスは年間523万トン

で、これは、国民一人当たり毎日**おにぎり1個分**(114g)の食品を捨てていることとなります(令和5年6月、農林水産省報道発表資料)。

「食品ロスを減らす方法」を参考に、環境にもお財布にも優しい食品ロス削減に取り組みましょう。

■環境課 廃棄物対策担当 ☎ 0238-26-6034

＜食品ロスを減らす方法＞

- ◎消費期限(過ぎたら食べない方がよい期限)と賞味期限(おいしく食べられる期限)の違いを理解し、食べられる食品をむやみに捨てない
- ◎毎月決まった日に冷蔵庫や食品庫を確認し、買いすぎを防ぎ計画的に食材を使いきる
- ◎食品ロス削減に取り組む「もったいない山形協力店」を利用する

もったいない山形
協力店HP



12 つくる責任
つかう責任



油断大敵！油流出事故を防ぎましょう！

冬期間は暖房器具の使用に伴い、灯油などを河川に流出させてしまう事故が増える傾向にあります。

その多くは「うっかりミス」によるものですが、油の流出は下流域の人々の生活に大きな被害を与えてしまうとともに、その処理費用は原因者の負担となるので、一瞬の気のゆるみが大きな後悔につながります。

流出事故が起きないように、家庭でも御注意ください。

事故発生時には、最寄りの消防署、市町または置賜総合支庁環境課に御連絡ください。



＜油流出事故を防ぐために＞

- ホームタンクから灯油を小分けする際は、絶対にその場を離れない！
- 小分けのポリタンク等は安定したところに置き、転倒に注意しましょう！
- 降雪前にホームタンクや配管に破損や亀裂がないか点検するとともに、落雪から保護しましょう！

■環境課 環境保全担当 ☎ 0238-26-6035

置賜総合支庁総務企画部総務課企画調整担当

住所：米沢市金池7丁目1-50 TEL:0238-26-6100 FAX:0238-24-1402